

平成30年  
新春展 一戌年にちなんで

1月13日(土)～2月18日(日)

中村芳中「光琳画譜」  
個人蔵



初春の本展覧会は戌戌(つちのといぬ)の年にちなみ、古くより身近に親しまれてきた犬の描かれた資料や、新年に楽しめる遊具・歌留多につながる作品などを紹介します。また、近年の新収蔵品「寄木箱」を初めて公開します。同作品は松花堂流の書家・神立愚鈍(1714頃～1793)が所持したもので、様々な銘木を取り合せた寄木箱に詩絵の施された珍しい一品です。愚鈍による「小倉山庄色紙和歌」や同じく松花堂流の書家・藤田友閑「詩歌巻」などとあわせてお楽しみください。

そのほか、寒気のなか咲きほこる梅をのびやかに描いた中林竹洞「梅図」など、吉祥の趣ある館蔵品を中心に約40点を展覧します。

ギャラリー  
トーク

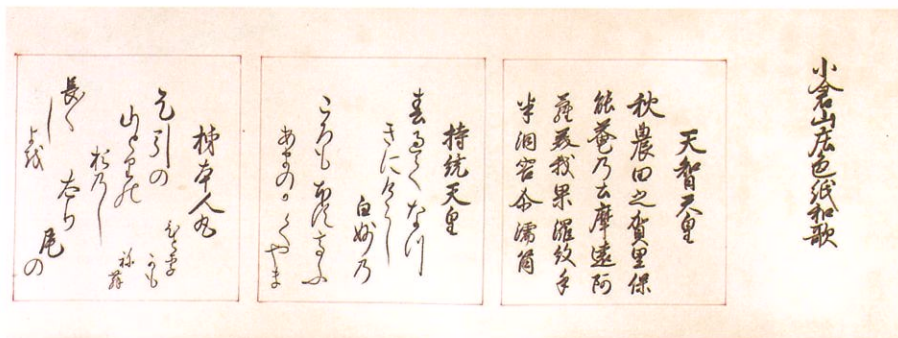
学芸員による展覧会みどころ解説  
平成30年 1月20日(土)、2月3日(土)・10日(土)  
各日午後2時より、展示室にて \*申込不要(観覧料が必要です)



「歌仙色紙片輪車」松花堂美術館蔵



中西耕石「龍虎図」個人蔵



神立愚鈍「小倉山庄色紙和歌」松花堂美術館蔵



「寄木箱」(神立愚鈍所持)松花堂美術館蔵



「雲龍園」松花堂美術館蔵

【松花堂庭園(国指定史跡・名勝)】

- 開園 午前9時～午後5時(入園は4時30分まで)
- 休園 毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は翌平日)
- 料金 一般400円 学生300円 こども200円(20名様以上団体2割引)
- ボランティアガイドによる庭園案内/無料(要予約)



【京都 吉兆 松花堂店】

「吉兆」の創業者・湯木貞一が、松花堂昭乗の「四つ切塗箱」をヒントに生み出した「松花堂弁当」。地元の野菜、季節の鮮魚で彩られた「松花堂弁当」を、昭乗ゆかりの地で是非ご賞味下さい。

※ご予約は吉兆松花堂店(075-971-3311)まで

ACCESS



【交通のご案内】

- 京都市駅から近鉄電車「丹波橋」駅より京阪電車乗換え(大阪方面)→「八幡市」駅または「樟葉」駅から京阪バス乗り換え→「大芝・松花堂前」下車すぐ
- JR学研都市線「松井山手」駅から京阪バス乗り換え→「大芝・松花堂前」下車すぐ

八幡市立松花堂美術館

〒614-8077 京都府八幡市八幡女郎花43-1  
お問合わせ先 TEL.075-981-0010 / FAX.075-981-0009  
<http://www.yawata-bunka.jp>



大西浄清「松梅地紋達磨釜」松花堂美術館蔵